

地区薬剤師会 御中

公益社団法人 東京都薬剤師会

写しの通り、東京都より通知がありましたので、貴会にて東京都と医療措置協定を締結している薬局へのご周知をよろしくお願いいたします。



8 保 医 感 医 第 118 号
令 和 8 年 4 月 24 日

都内協定締結医療機関管理者 殿

東京都保健医療局感染症対策部長
(公印省略)

新型インフルエンザ等対策講習会のオンデマンド配信について

日頃から都の感染症対策に御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、都内の医療従事者等を対象に、下記に定める研修のオンデマンド配信を開始いたしましたのでお知らせします。

新興感染症に備える上でも貴重な内容となりますので、是非御視聴いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

1 対象研修

下表のとおり

標題	講師（敬称略）	公開日
リスクコミュニケーション	放送大学教養学部・同大学院文化科 研究科 奈良 由美子	令和8年3月25日 (水曜日)

2 目的

医療機関等、新型インフルエンザ等対策に取り組む必要のある関係者に対し、新型インフルエンザ等対策に関する適切な知識の普及を図るため

3 研修対象者

医療機関等（都内病院、診療所、薬局及び訪問看護事業者を含む。）及び新型インフルエンザ等対策行動計画で指定された主体（都や区市町村の保健所及び行政職員）

4 配信方法

東京都ホームページにて公開

https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/kansen/info/influ/shingatainflur7_kenshu

【問合せ先】

東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

東京都保健医療局感染症対策部医療体制整備課

板野・加藤・奈良田

電話 03-5320-4332

- ◆ 目的
医療機関等、新型インフルエンザ等対策に取り組む必要のある関係者に対し、新型インフルエンザ等対策に関する適切な知識の普及を図る
- ◆ 研修対象者
医療機関等（都内病院、診療所、薬局及び訪問看護事業者を含む。）及び新型インフルエンザ等対策行動計画で指定された主体（都や区市町村の保健所及び行政職員）
- ◆ 配信方法
東京都ホームページにて公開 https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/kansen/info/influ/shingatainflur7_kenshu

項目	R 7 年度の実施
テーマ	「リスクコミュニケーションについて」
講師	放送大学教養学部・同大学院文化科学研究科 教授 奈良 由美子 先生
内容	医療機関等が、双方向のコミュニケーションを適切に実施し、感染症流行時にも偽・誤情報等に左右されることなく、適切な対応を取る方法の紹介

令和7年度新型インフルエンザ等対策講習会 リスクコミュニケーション

リスクコミュニケーションの進め方

リスコミは学術的にも蓄積ある知識体系。理論/知識と実践/スキルの調和が重要。PDCA。

全体像の把握

自らがこれから行おうとする（いま行っている）リスコミの部分と全体像を意識したコミュニケーションデザインを不断に描き実践する

リスコミの5W1H

- 「何のために」、「いつ」、「どこで」、「誰に（誰と）」、「何について」
- そのうえで、「どのように」。テクニックに走ってはいけない（しかしテクニックを知っておくと不要な混乱を防ぐことはできる）。

時間・空間・社会スケール

一時的/短期的	中期的	長期的/恒常的
地域	広域/国	国際/地球規模
個	少数	多数/集合的

フェーズ

平常時	非常時	回復期
-----	-----	-----

ハザード種別

単純	複雑	不確実	多義的
自然災害、犯罪、事故、疾病、新興感染症、...			

目的

教育・啓発	行動変容の喚起	信頼醸成	問題発見と論点可視化	合意形成
-------	---------	------	------------	------

知識の不定性

放送大学教養学部
大学院文化科学研究科
教授

なら ゆみこ
奈良 由美子



全体像の把握

リスコミの5W1H

フェーズ

ハザード種別

目的

知識の不定性

独立行政法人科学技術振興機構科学コミュニケーションセンター
『リスクコミュニケーション事例調査報告書』
(2014) p.39より作成。一部改変

19